

事務事業評価資料

施策名	観光ツーリズムの推進			所管部局課名	産業労働部観光・国際局観光振興室				
事業名	あいたい兵庫キャンペーン実施事業			担当者電話番号	大型観光交流キャンペーン推進担当 078-362-3836				
事業目的	兵庫県大型観光交流キャンペーン実施事業で培われた実践的な取り組みを継承・発展させ、西日本・九州・首都圏から更なる誘客を図るため、引き続きJR西日本等とタイアップのものとキャンペーンを展開する。								
事業内容	あいたい兵庫キャンペーン推進協議会（仮称）が実施する事業へ負担 総事業費：4,000万円（うち県費2,000万円）				事業開始年度	平成21年度			
事業に要するコスト	区分	平成19年度決算額		平成20年度当初予算額		平成21年度当初予算額			
	事業費	(0千円) 0千円		(0千円) 0千円		(10,000千円) 10,000千円			
	人件費	0千円	従事人員 0.0人	0千円	従事人員 0.0人	8,360千円	従事人員 1.0人		
	総コスト（+）	0千円	従事人員 0.0人	0千円	従事人員 0.0人	18,360千円	従事人員 1.0人		
事業の目標	県外からの観光客入込数の確保			[目標設定理由] ・事業実施により県外からの観光客誘致を図るため、国内外からの観光客入込込み数の確保を目標とする。 ・目標値は、ひょうごツーリズムビジョン後期行動プログラムにそって、H22に150百万人を目指す。					
目標の達成度を示す指標	指標名	目 標		19年度実績	20年度見込み	21年度目標	達成率（%）		
		目標値	年度				H19	H20	H21
	観光客入込数(百万人)	150	H22年度	132	-	-	88%	-	-
評価結果	必要性	・地域活性化を図るためには、ツーリズムの推進による交流人口の増加が必要である。 ・経済の減速等により旅行意欲が減退している現状を考慮し、デスティネーションキャンペーン(DC)を実施するが、着実に県外からの観光客入込数の確保を図るためには、DCで得られるノウハウや成果を活かした取組を継続し、観光客入込数の目標達成に取り組む必要がある。							
	有効性	・観光客入込数の20年度見込が不明なため、この後の推移を見守る必要があるが、DCで得られるノウハウや成果を活かし、JRグループとタイアップした事業実施は、観光客を増加させ、大きな経済効果をもたらす、地域経済の活性化に寄与すると考える。							
	効率性	・指標1単位あたりのコストは、観光客入込数の20年度見込が不明なため、この後の推移を見守る必要があるが、県・市町が応分の負担をすることにより、効率的な執行を図るようにしている。 ・また、JR西日本等が有する販促のノウハウや宣伝媒体を活用できるとともに、DCで得られるノウハウや成果を活用することから、県が単独で行うよりも効率的である。							
	民間・市町との役割分担	・県は誘客促進のための広報宣伝を行い、市町等は観光客を受け入れるための体制整備等を行うこととしている ・なお、大規模な交流キャンペーンを行うことで地域活性化につなげるためには、県が主導的に実施する必要がある。							
	受益と負担の適正化	・地域の活性化に資することから負担割合を県：市町＝1：1としているほか、観光関係企業や団体でも様々な事業が展開される。							
実施方針	方向性	新規	拡充	継続	実施手法の見直し				
	実施手法の見直し内容	廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定		
説明	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他		
	あいたい兵庫デスティネーションキャンペーンの成果を継承・発展させ、更なる誘客を図る観点から、DCのポスト事業として取り組む。								